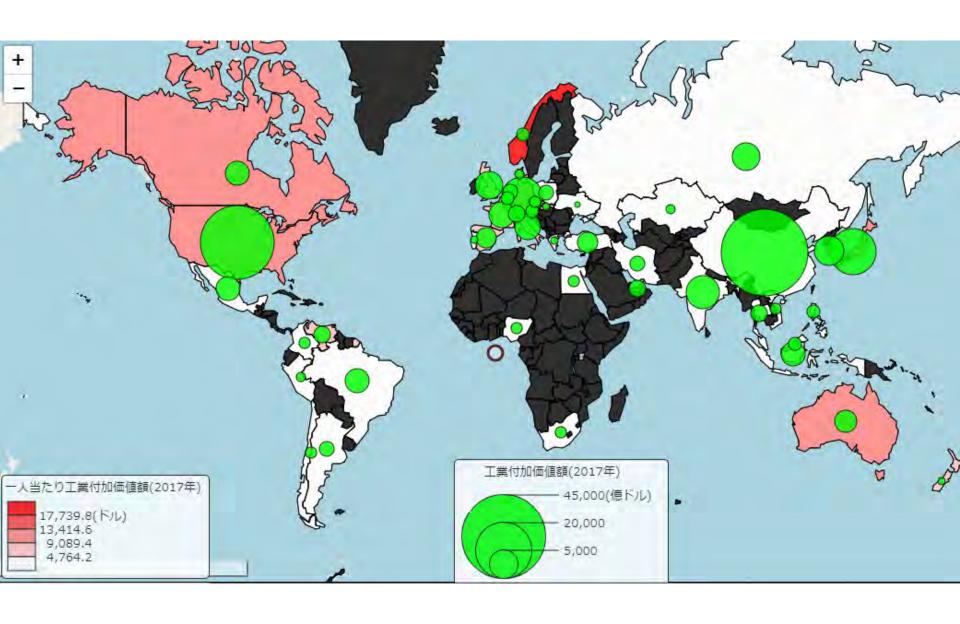
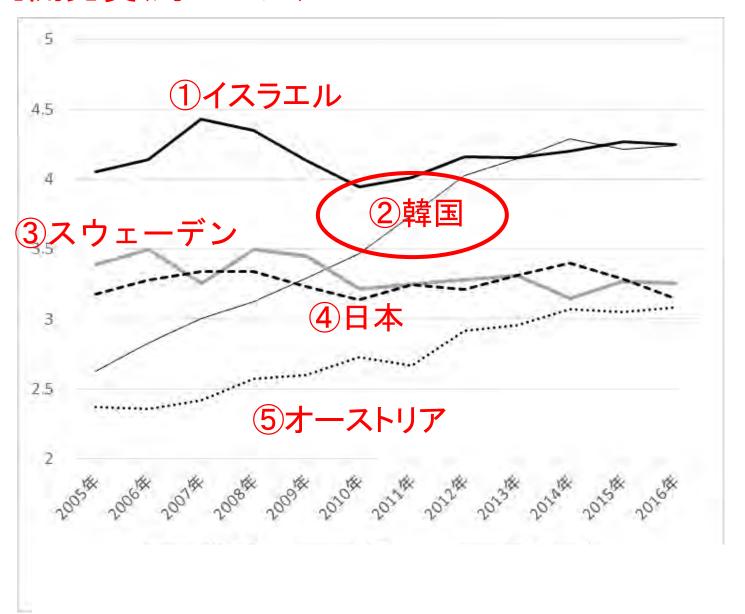


- 1 世界の工業の基本(1) 工業の特性
 - ····原材料を加工して、より工業付加価値 の高 い製品を作る営み
 - → 工業付加価値は,技術レベルが高いほど高い。 GDPに占める研究開発費,特許使用料の多さが反 映されている。

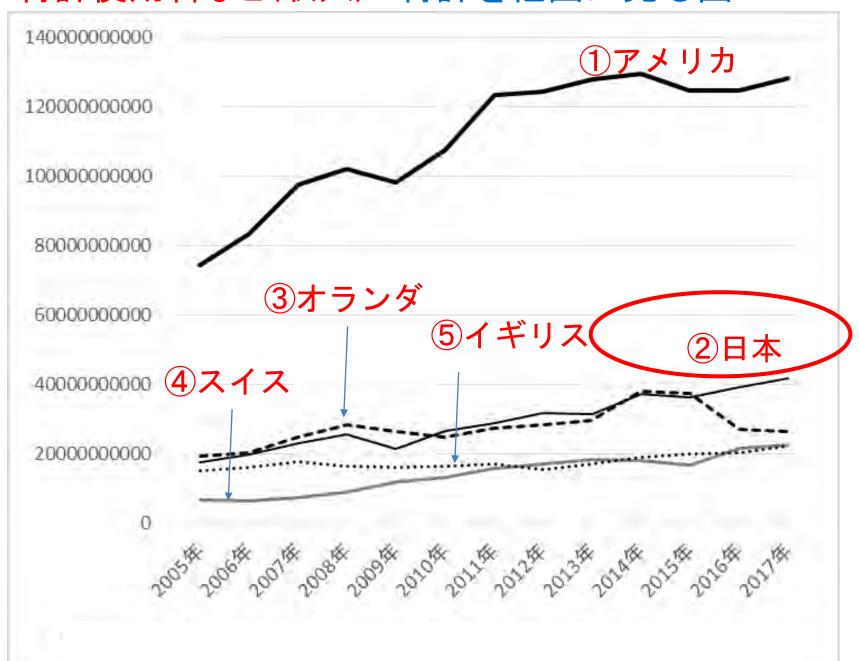


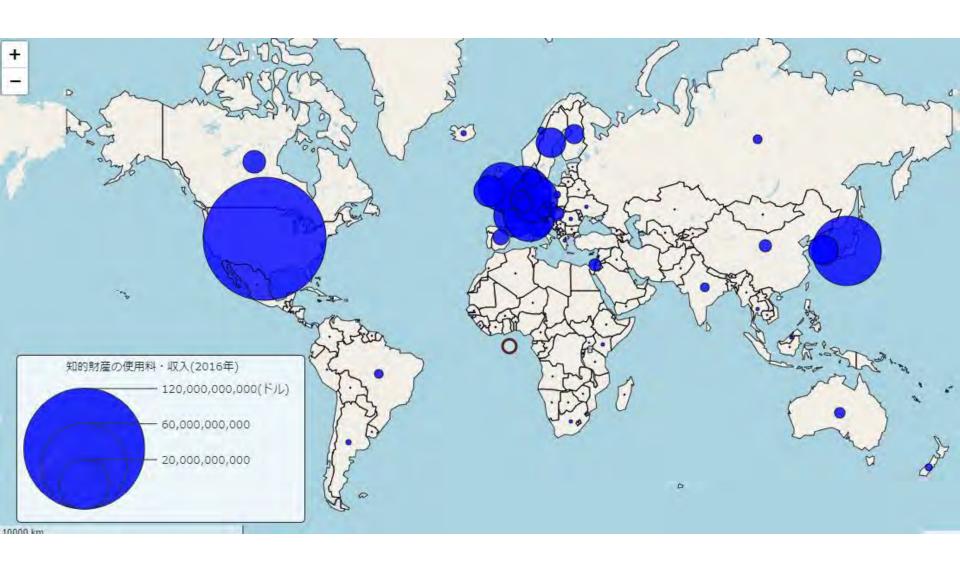


研究開発費(対GDP比)

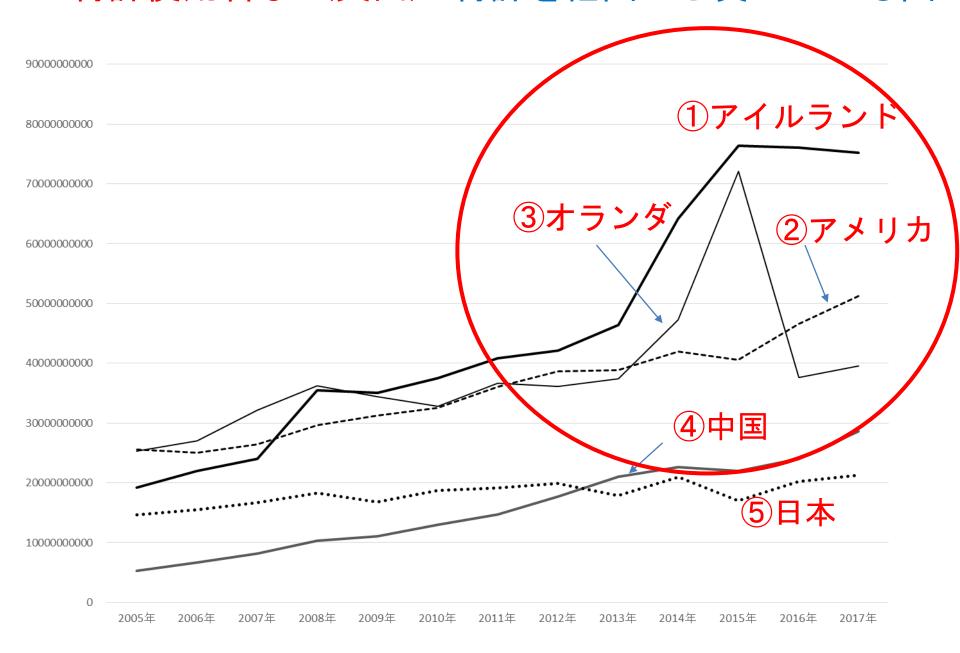


特許使用料など(収入) 特許を他国に売る国



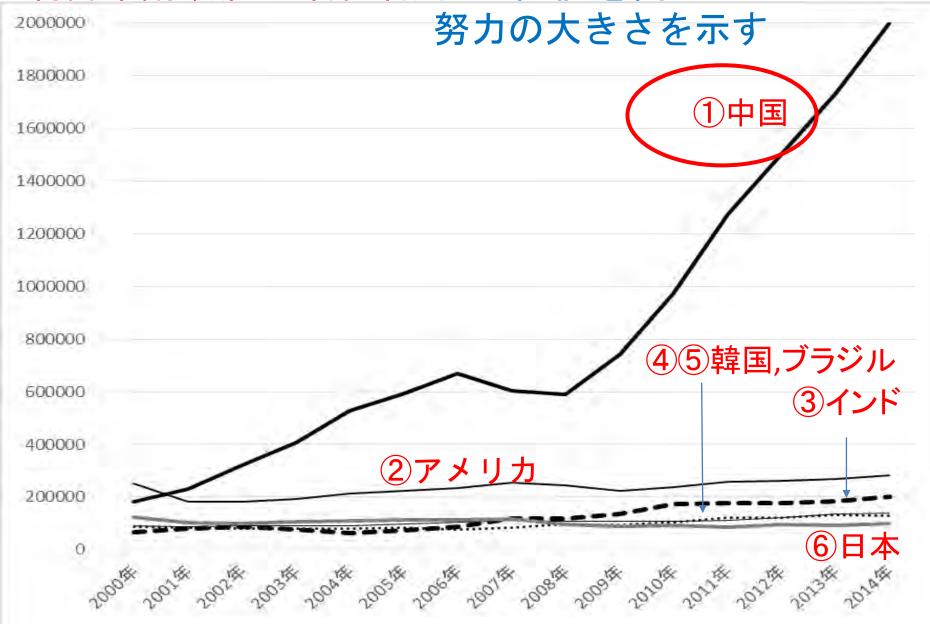


特許使用料など(支出) 特許を他国から買っている国





特許申請数(国内居住者) 付加価値を高めるための



(2) 工業の歴史

- ①18世紀中頃まで
 - ■商人から原材料の前貸しを受けた生産者が自宅で加工を行う[問屋制家内工業]





■のちに地主や商人が工場を設け、そこに賃金労働者を集め、

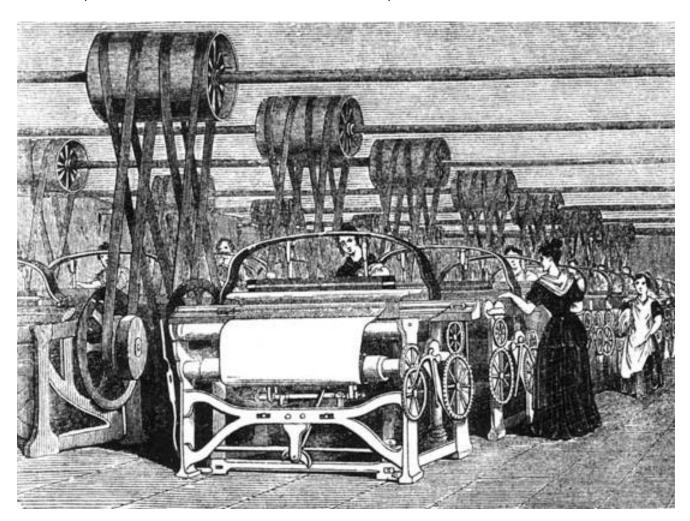
様々な工程を分業して、効率的に生産する

[工場制手工業 = マニファクチュア]



オイルエッセンシャルのマニファクチュア

- ■18世紀後半の産業革命後~現代
 - ・・・工場において機械により製品を生産する (工場制機械工業)



STEAM ENGINE



■19世紀末~

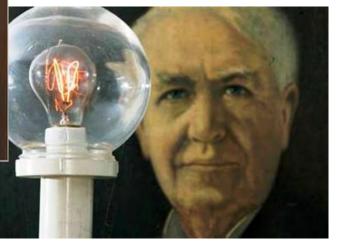
電気利用 の実現,

高分子化学 の発達により、

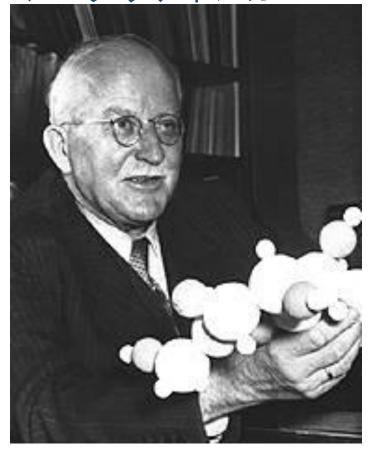
工業の業種が増大

1874年にカナダの学生ヘンリーとマシューが電球発明





シュタウディンガー



■第二次世界大戦後・・・アメリカのフォード社が実現 したオートメーション化など で合理化



■現代

コンピュータや<u>産業用ロボット(日本が世界の過半数</u>を持つ工作機械で、稼働台数も多い)を導入し、各種の技術革新が進行(先進資本主義国が中心)





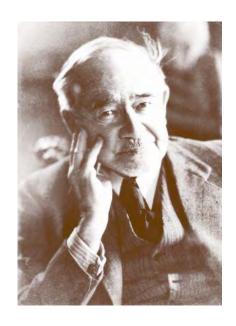




(3) 工業立地

①ウェーバーの工業立地論

工業生産で利潤を大きくするには、生産費の節約が重要であるが、なかでも<u>輸送費</u>が最も重要で、それが最低になる地点に工場立地する。



アルフレッド・ウェーバー(1868-1958)

②業種により異なる立地タイプ

■ 原料 立地

…原料が重いため、輸送費用の少ない原料産地に立地する

例

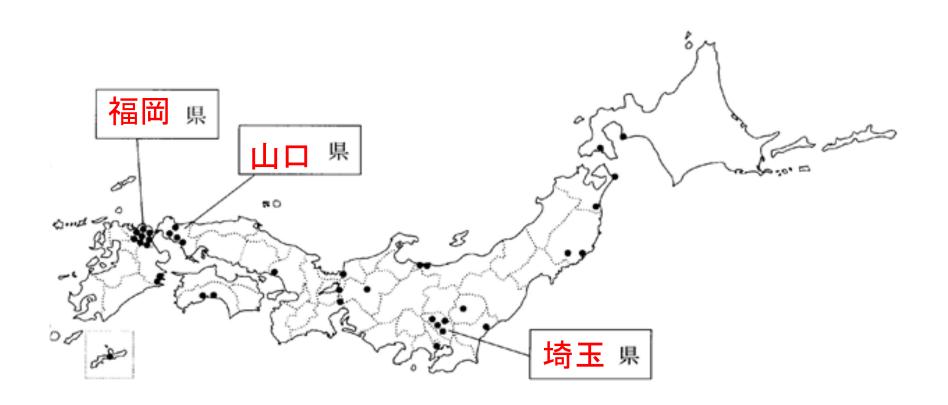
セメント工業 …秩父(埼玉), 宇部(山口)





セメント工場の分布

石灰岩産地



- 窯業 (愛知)





製紙・パルプ … 苫小牧(北海道・掘込み港), 富士(静岡)



製紙・パルプエ場分布



■ 労働力 立地

…安価で豊富あるいは高度な技術を持つ労働力を必要とする

例

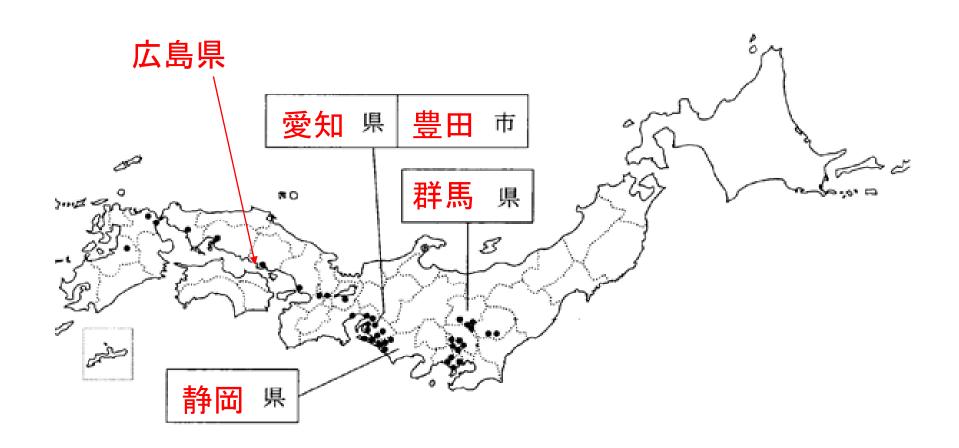
- 自動車工業

…[豊田](愛知,工業製品出荷額日本1位),

太田(群馬,富士重工)

広島(マツダ) デトロイト(米) ウォルフスブルグ(独)など





■綿工業(中国・パキスタンなどアジアの南側) 衣料品製造(北アフリカ)





市場(消費地) 立地

…普通原料(水など)を原料として製品にすると重くなるもの、情報·流行に敏感なものは市場近くに立地

例

ビール



- 出版・印刷 …東京・パリなど大都市
 - 高級服飾品… パリ ミラノ ニューョーク(三大コレクション)

プレタポルテ

高級既製服展示会が開かれる3大都市が典型的





・コンピュータ製造業(完成品製造)



市場立地傾向 + 伝統的な工業地域への立地

例. 諏訪 (長野県で戦後精密機械工業が発展, セイコーエプソン立地)



臨海 立地

…輸入原料に依存するため、臨海地域に立地する

■工業の例 鉄鋼, 石油化学 .

石油化学…四日市(三重), ロッテルダム

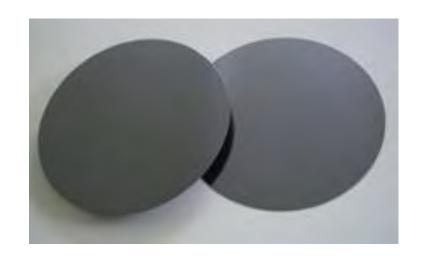




- 臨空港 立地 or 高速インタ,大学近く
- …軽薄短小で高付加価値製品のため、輸送費の割合が低い。

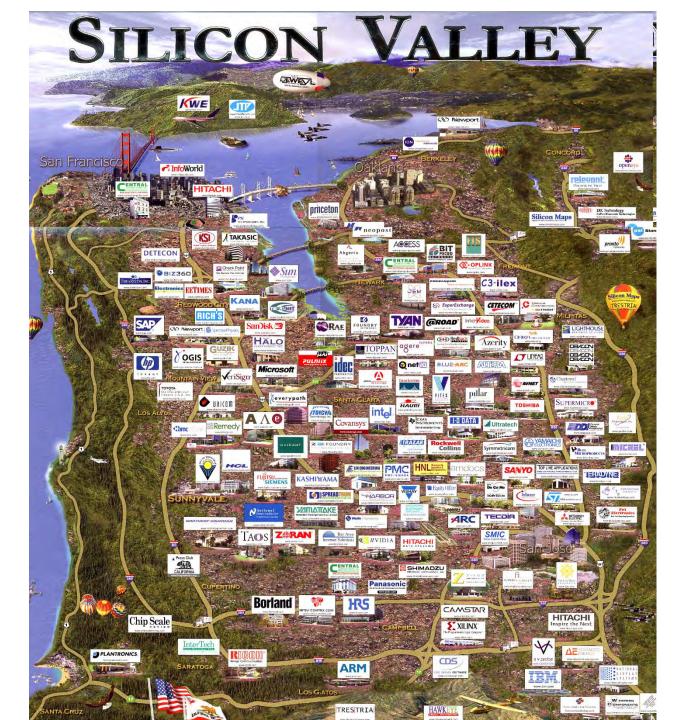
例 半導体工業(コンピュータ部品製造)

- ・シリコンアイランド___(九州)
- <u>・シリコンバレー(</u>アメリカ)









※補足

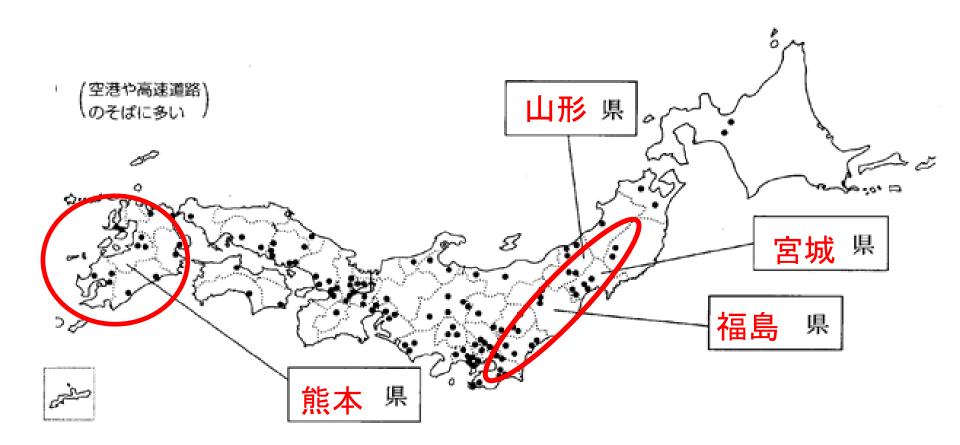
■半導体工場 →空港とともに, 大学 , 研究所, 高速道路 の インターチェンジ 付近にも立地

例 日本

<u>シリコンロード</u> (東北・高速道路)

IC(半導体)工場の分布

臨空港•高速道路立地



■___<u>電力</u> 指向型工業···大量の電力を使用

例 アルミニウム 工業

かつての 蒲原 (静岡県)

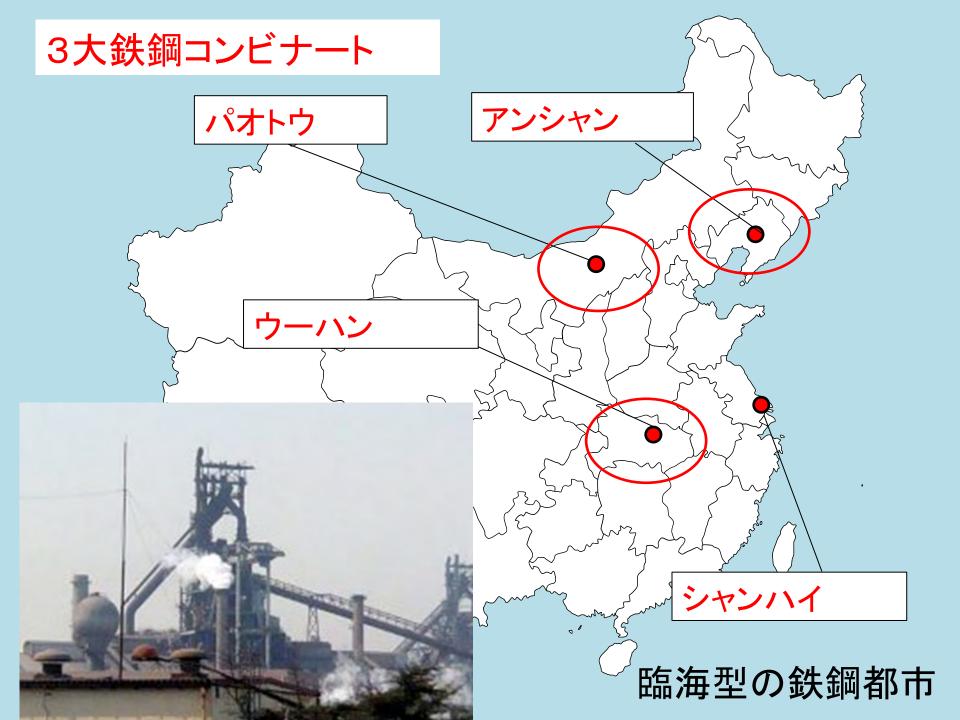




- ③鉄鋼業の立地変化
 - ■かつて・・・コークスの大量使用→ <u>炭田立地 型</u>
 - ■その後・・・コークスの利用量の大幅減少(1/4程度) → 鉄山立地 型(炭田・鉄山立地型)
 - ■戦後・・・・資源枯渇,輸入依存の増大→ <u>臨海立地型へ</u> 例1.中華人民共和国

地元資源の炭田立地型か鉄山立地型の3大鉄鋼コンビナート

→ 1970年~<u>上海</u>などの臨海部へ



例2. 日本

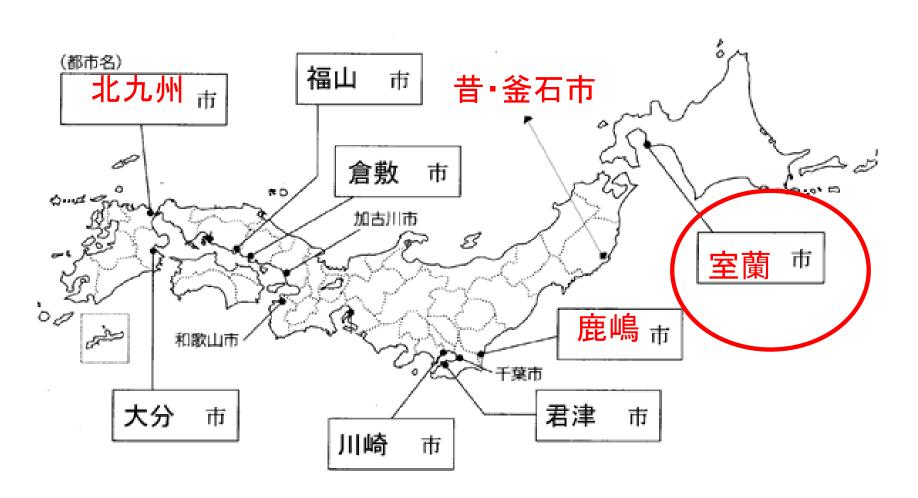
- ■戦前からの1960年代まで
 - ・・地元資源を利用した鉄鋼都市が主流

室蘭 (北海道・炭田立地), 釜石 (岩手県・鉄山立地) 北九州(福岡県・八幡製鉄所・炭田立地)など

- ■1960年代以降
 - ・・海外資源に依存した臨海立地型の鉄鋼都市が出現
- ■現在
 - ・・・海外へ

鉄鋼業(製鉄所)の分布

太平洋ベルト+北海道室蘭市



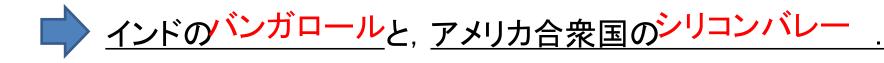
④先進国の工業立地変化(1970年代後半以降)

- ■____人件費____の高騰による生産コストの上昇
- ■他の先進国との 貿易摩擦
- 多国籍企業 の増大



海外での現地生産(対外直接投資)

- ③グローバル化の結果
 - ■マイナス面
 - ・・・国内産業の国内の工場が海外へ移転し、国内の工業地域の産業が衰える(産業の空洞化)
 - ■プラス面
 - ・・・ 時差を利用した国際分業の実現



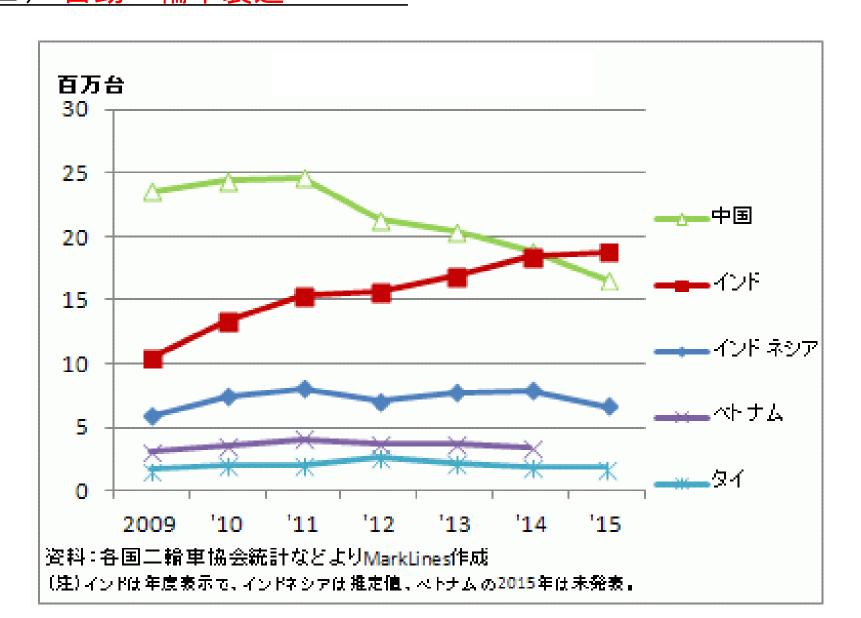


3 主な業種の工業生産額

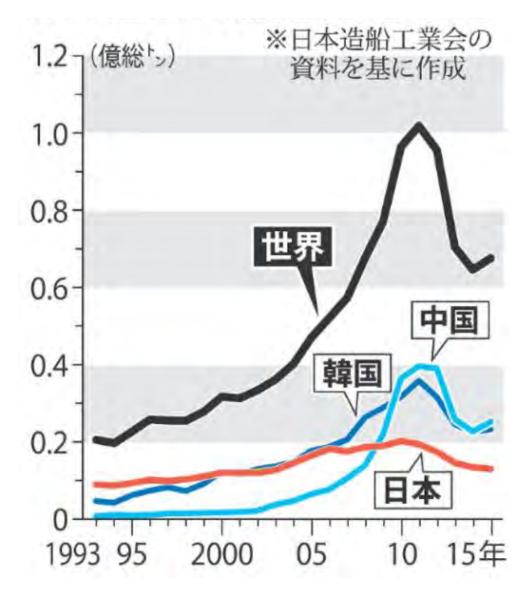
(1)自動車工業 中国・アメリカ・日本



(2) 自動二輪車製造 中国・インド・インドネシア



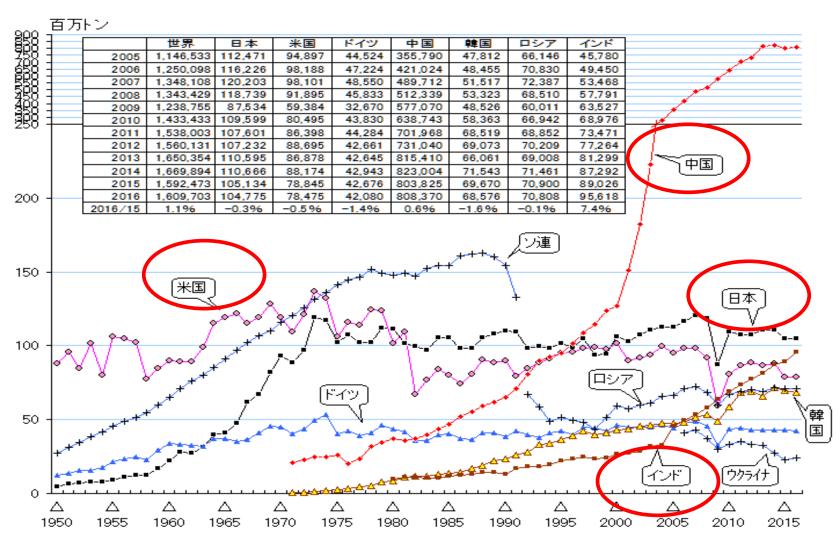
(3) 造船業・・・ 中国・韓国・日本の東アジアに特化



③ 粗鋼生產

- 中国・日本・インド・アメリカ

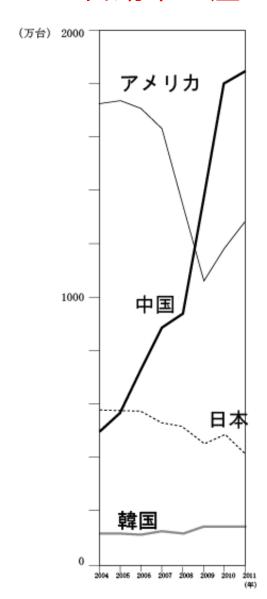
世界と日本の粗鋼生産量の長期推移

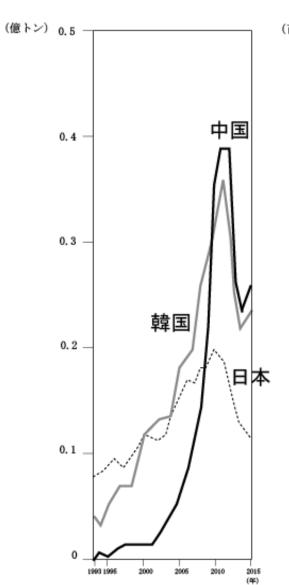


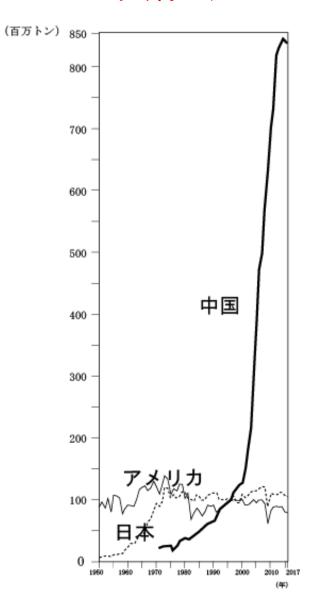
自動車生産

船舶竣工数

粗鋼生產

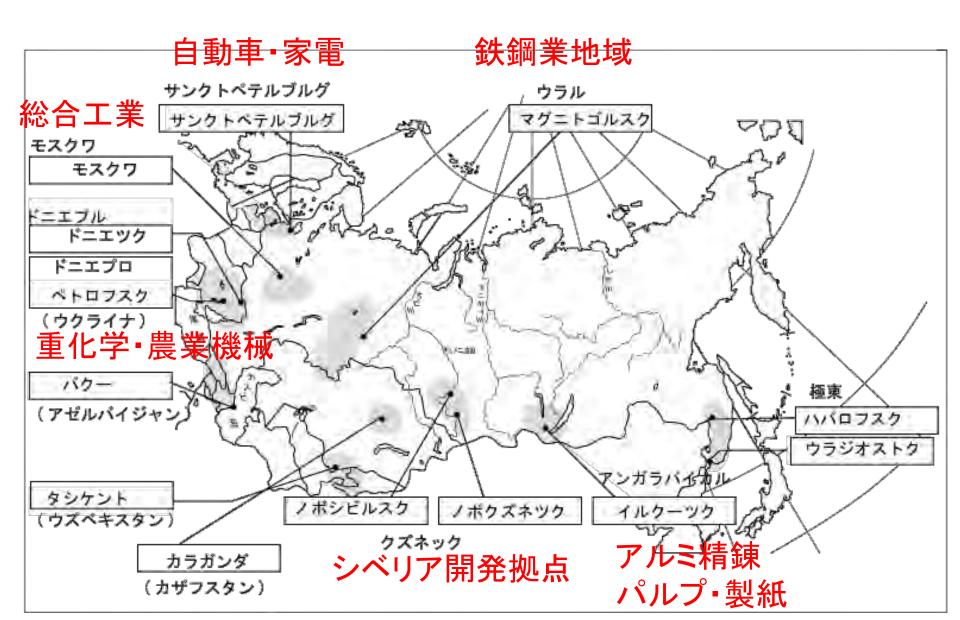






4 主な工業地域

(1)ロシア



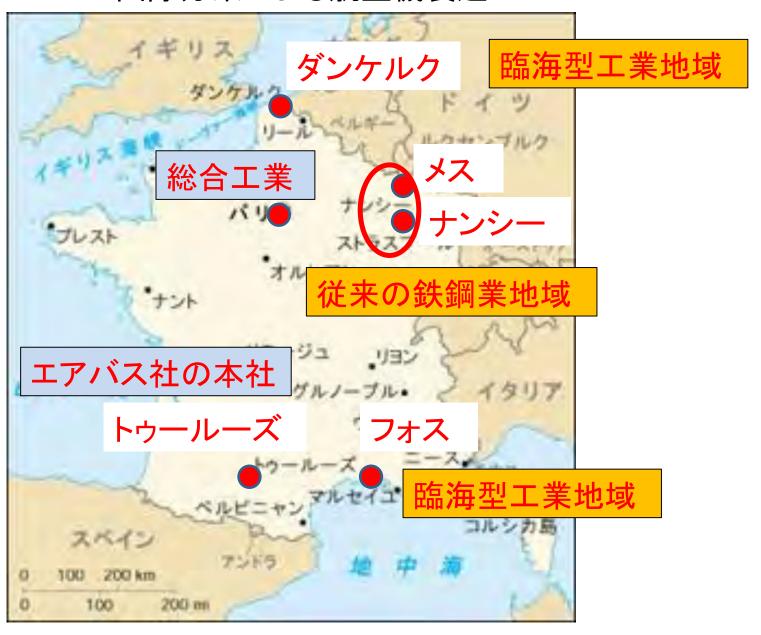
(2)ヨーロッパ

<u>- ルール地方</u> − 炭田利用した鉄鋼業

(近年の多角化、バイオテクノロジーで再生)



・トゥールーズー国際分業による航空機製造



・第三のイタリアー零細工場の地域分業で衣料品・皮革工業



【ブルーバナナ】(分布域の形とEUの色から命名)

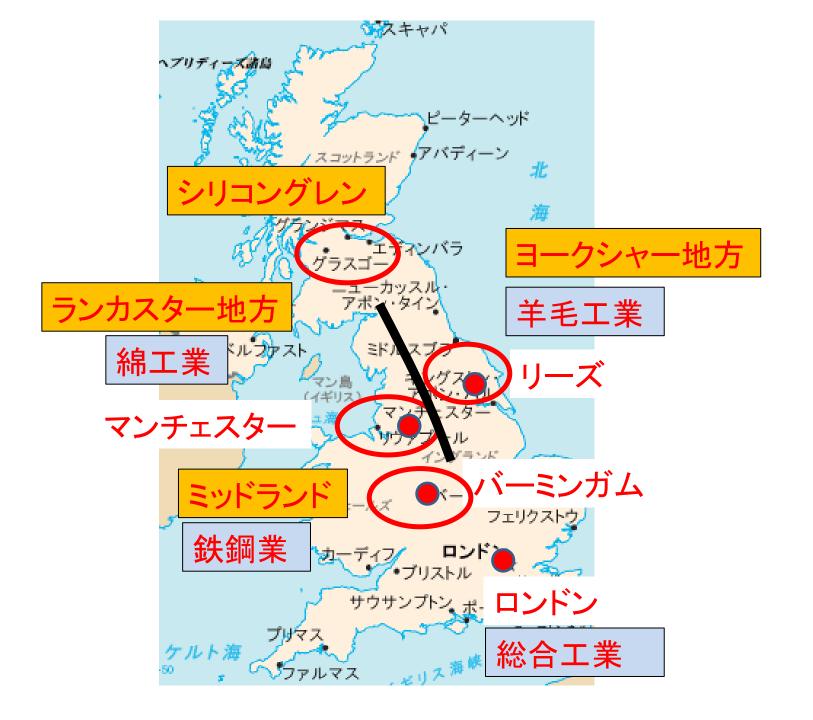
イギリス中南部からライン川流域、イタリア北部にかけての西ヨーロッパの最も工業の盛んな地域



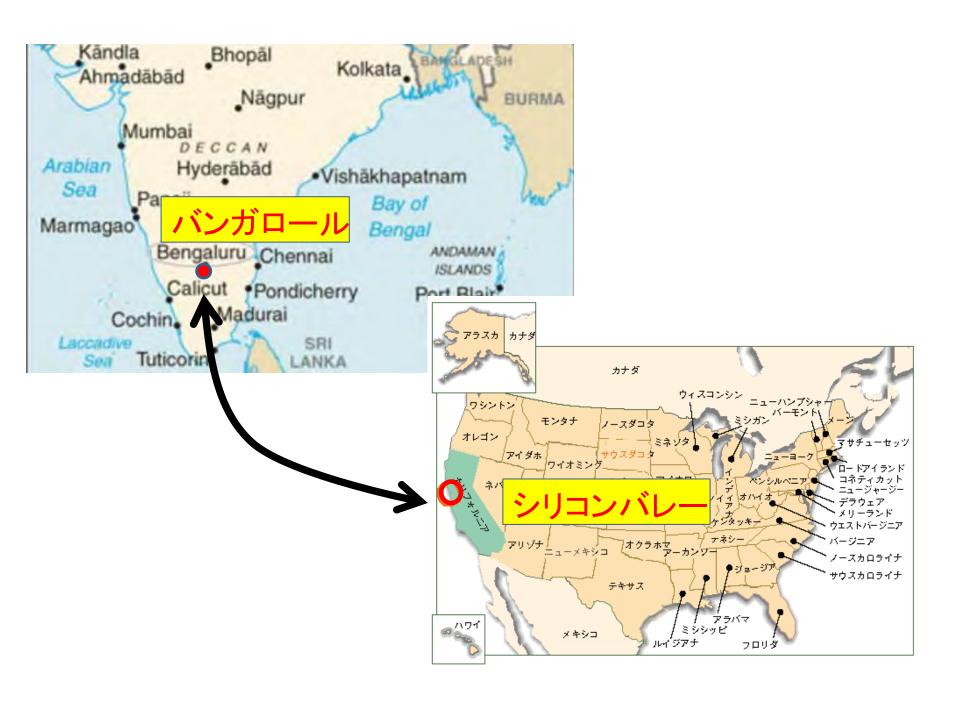
高い技術と品質の優れた付加価値の高い製品(時計や薬品)に特色がある。

時計産業 ジュラ山脈東麓の<u>ヌーシャテル</u>が中心 化学工業 <u>バーゼル</u>





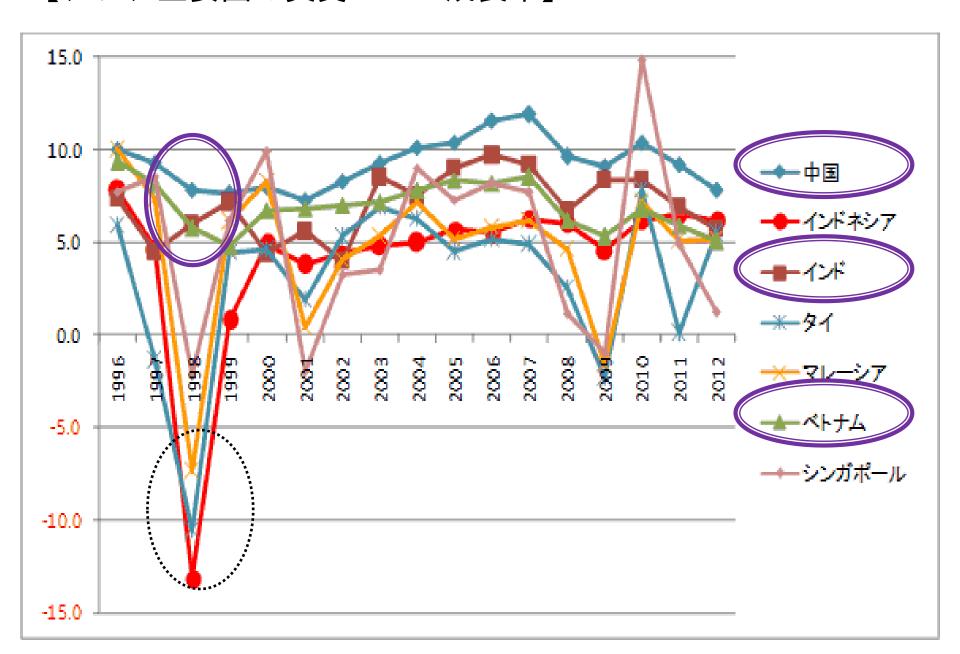
- (3) インド
- ・独立後、政府主導の工業化(<u>輸入 代替型 工業</u>) ※ダモダル炭田利用した鉄鋼業など
- 1960年代から伸び悩み
- 1990年からの 開放政策 により欧米・日本・韓国などの企業進出が進み、発展。
- ・現在・・・・急成長する<u>「CT</u>産業
 - →高い数学、コンピュータ教育・ 英語力 カ
 - →アメリカとの時差を利用して発展
 - → インドの【<u>シリコンバレー</u>】出現 (<u>バンガロール</u>)

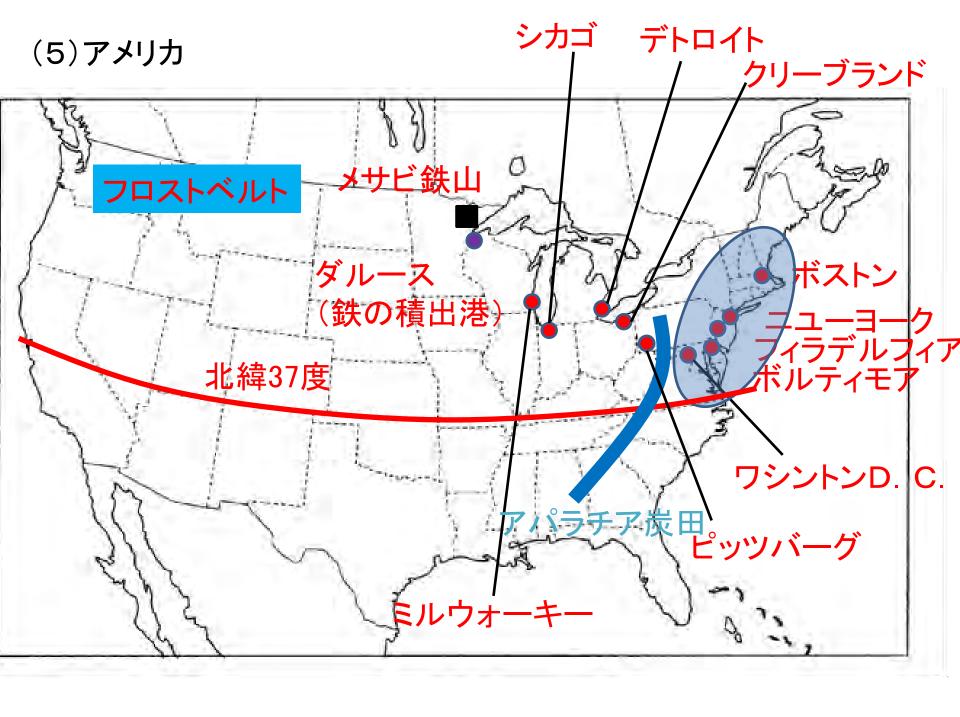


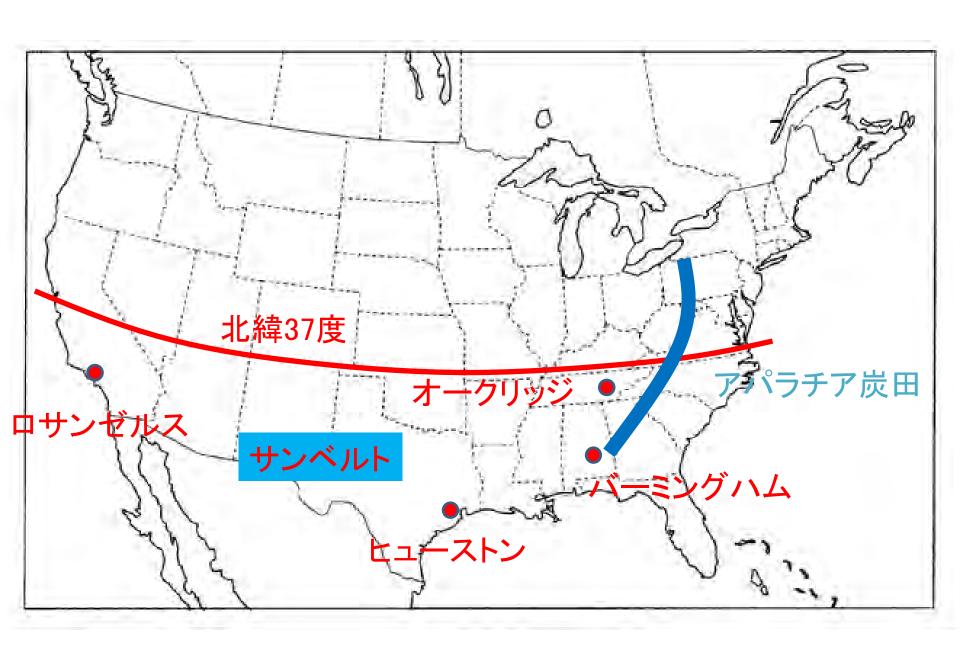
- (4) 東南アジア (通貨危機)
- 1980年代から<u>輸入代替型</u>
 - → <u>輸出加工型 (輸出加工区をつくる)</u> という変化を 経て発展

• 1998年の<u>アジア通貨</u> 危機で, 一時危機的状況に (2008年はリーマンショック)

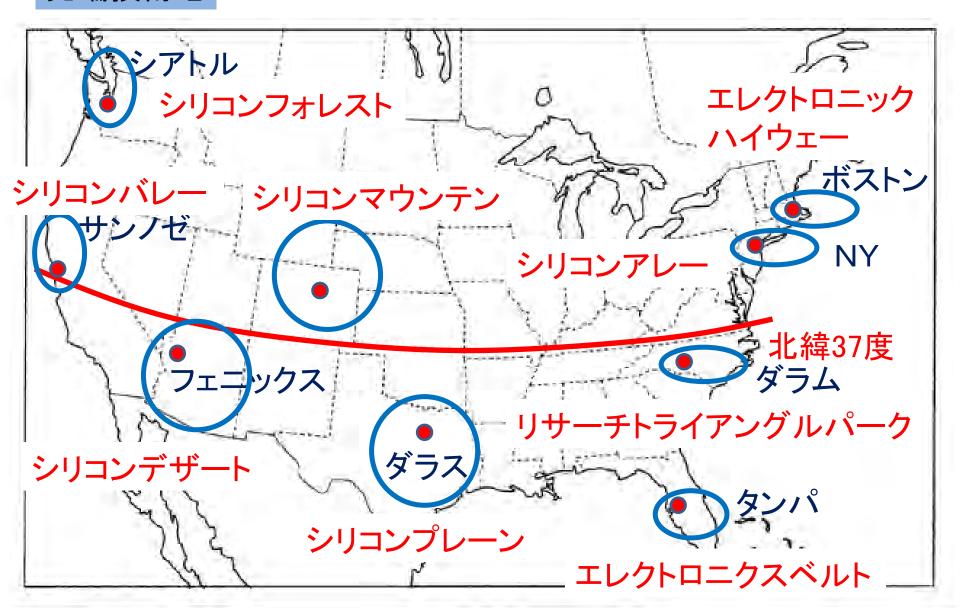
【アジア主要国の実質GDP成長率】



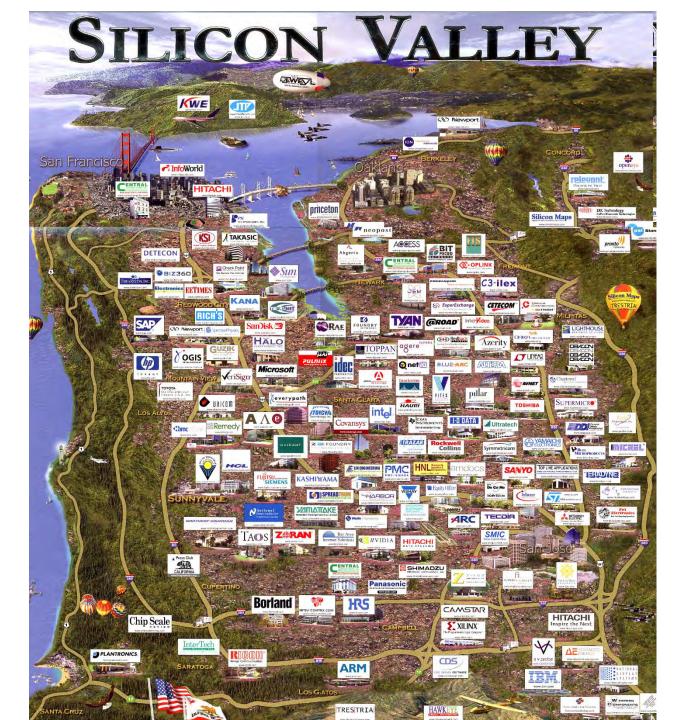




先端技術地







- (6) その他
- ①アフリカの地中海沿岸
 - ・アルジェリアなど・ 石油 精製, 衣料品製造

- ②南アメリカ
 - <u>ブラジル</u> が南米でもっとも工業が発達しているが 自動車工業どまり。次は アルゼンチン。